

# バッテリー節約とバックグラウンドアプリ

2017/12/15 現在

バックグラウンドアプリをご存知ですか。

バックグラウンドアプリとは、使っていない（開いていない）ときでも、バックグラウンドで（裏でこっそり）自動的に実行して、外部からの情報の受信で最新の状態を保ったり通知の発信を行う機能です。

受信および受信情報による更新や送信およびそのための処理を行うと当然電力を少量ですが消費します。

Windows インストールの初期設定のままであったり、新しくアプリをインストールしたときに知らないうちにバックグラウンドでの実行が許可されていることがあり、気が付かないところで実行され電力を消費しているのです。

バックグラウンドアプリの実行をすべて止めれば、電力の消費がされなくなりますが、使用都度最新の状態になればよい、都度の通知はいらぬというアプリがある一方、電源が入っている間は最新の状態にしたい、通知を受けたいというアプリもあります。

Windows10 では、このバックグラウンドアプリの実行を許可するしないを選択できる機能があります。この機能を使うことで少量ですが（ちりも積もれば山となる）電力の消費を少なくすることができます。

## バックグラウンドアプリの実行の許可する・許可しないの設定方法

「スタート」ボタン⇒「設定」⇒「プライバシー」⇒「バックグラウンドアプリ」（バージョン 1709 の場合は左の一覧の下から 3 つ目）クリックでバックグラウンドアプリの設定ができる画面が右に表示されます。

上の方にある「アプリのバックグラウンド実行を許可する」のスイッチを「オフ」にするとすべてのバックグラウンドアプリが実行されません。

「オン」にすると「バックグラウンドでの実行を許可するアプリを選んでください」の下に、バックグラウンドで実行されるアプリの一覧として表示されている個々のアプリに実行の許可をするスイッチが表示されるので、これを「オン」（許可する）または「オフ」（許可しない）にしてください。使用しているアプリ、都度通知を受ける必要のあるアプリまたはパソコンメーカーのシステム用アプリ以外は「オフ」にしておくといよいでしょう。